

令和7年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	1	分館の来館利用																																
重点課題	1 図書館サービスのPRと情報提供を通じた利用の促進 2 公民館等、関係部署との連携																																	
具体的な取組内容	(課題1) ・図書館ホームページ及びSNSを活用して分館情報の発信を行う。 ・テーマ展示を各館で毎月2回以上行い、図書館の利用促進を図る。 (課題2) ・公民館主催事業において、関連資料の展示や広報など事業に関する情報提供を行う。 ・サークル成果発表会など他課開催事業において、講師派遣に応じるとともに、絵本のよみきかせ等を積極的に実施し、連携を図る。 ・「食育月間」「自殺予防週間」など、関係部署の啓発展示に合わせ、関連資料の展示、啓発パンフレット・ポスターの配布・掲示を行う。																																	
担当係	分館係																																	
関連予算	図書館サービス事業																																	
量的指標 質的指標	【量的指標】 ・貸出利用者数: 28万人 ・貸出冊数: 78万冊 * 分館は来館者数を計測していないことから、貸出利用者数を指標とする。 ・ホームページやSNSを活用したPRの実施 (図書館だより: 毎月1回更新、SNS: 各分館で毎月1回以上投稿) ・テーマ展示: 毎月2回程度 【質的指標】 ・他課開催事業への講師派遣: 各館1回以上																																	
令和7年度 結果 (見込み)	【量的指標】 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">4～9月</th> <th style="text-align: center;">一か月当たり</th> <th style="text-align: center;">年度末見込値</th> <th style="text-align: center;">達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">貸出利用者数</td> <td style="text-align: center;">141,069人</td> <td style="text-align: center;">23,512人</td> <td style="text-align: center;">282,138人</td> <td style="text-align: center;">100.8%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">貸出冊数</td> <td style="text-align: center;">378,961冊</td> <td style="text-align: center;">63,160冊</td> <td style="text-align: center;">757,922冊</td> <td style="text-align: center;">97.2%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">PR(図書館だより)</td> <td style="text-align: center;">7回</td> <td style="text-align: center;">1回</td> <td style="text-align: center;">13回</td> <td style="text-align: center;">108.3%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">PR(SNS)</td> <td style="text-align: center;">71回</td> <td style="text-align: center;">12回</td> <td style="text-align: center;">142回</td> <td style="text-align: center;">169.0%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">テーマ展示</td> <td style="text-align: center;">253回</td> <td style="text-align: center;">42回</td> <td style="text-align: center;">506回</td> <td style="text-align: center;">301.2%</td> </tr> </tbody> </table> 【質的指標】 ・他課開催事業への講師派遣を9月までに3館で4回実施し、年度末までに合計4館で11回実施見込み。					4～9月	一か月当たり	年度末見込値	達成率	貸出利用者数	141,069人	23,512人	282,138人	100.8%	貸出冊数	378,961冊	63,160冊	757,922冊	97.2%	PR(図書館だより)	7回	1回	13回	108.3%	PR(SNS)	71回	12回	142回	169.0%	テーマ展示	253回	42回	506回	301.2%
	4～9月	一か月当たり	年度末見込値	達成率																														
貸出利用者数	141,069人	23,512人	282,138人	100.8%																														
貸出冊数	378,961冊	63,160冊	757,922冊	97.2%																														
PR(図書館だより)	7回	1回	13回	108.3%																														
PR(SNS)	71回	12回	142回	169.0%																														
テーマ展示	253回	42回	506回	301.2%																														

参考数値		令和5年度	令和6年度
	貸出利用者数(分館7館)	287,932人	279,823人
	貸出冊数(分館7館)	803,142冊	766,061冊
	図書館だより更新回数(分館7館)	14回	16回
	SNS投稿回数(分館7館)	173件	188件
	事業への講師派遣(分館7館)	5件	10件

図書館 自己評価	<p>・貸出冊数は令和6年度に続き減少傾向にある。令和6年度と比較して、1日あたりの貸出利用者数は3.6%、1日あたりの貸出冊数は5.5%減少した。要因としては上半期の酷暑の影響による来館の減少が挙げられる。</p> <p>・図書館ホームページの「図書館だより」を毎月1回程度更新し、各分館がPRを行ったほか、図書館公式Xにおいては、各分館が館内の展示について毎月情報発信を行い、来館を促進することができた。</p> <p>・テーマ展示は、展示架で定期的実施したほか、カウンターやブックトラックなどで「ミニ展示」を積極的に行った。所蔵資料の魅力を利用者に伝え、資料の貸出につなげることができた。</p> <p>・公民館主催事業である平和パネル展は、全分館で関連資料と図書リストの展示を行った。このほかに、公民館のサークルや講座に関連資料を提供し、市民に貸出した。講座の受講者が図書館に立ち寄るなど、図書館利用につなげることができた。</p> <p>・啓発展示では、食育月間や自殺予防週間など、特定月間・週間の周知と関連資料の展示に取り組んだ。</p> <p>・『広報うらやす』の分館特集号を通して、分館が実施している様々なサービスを広く市民に紹介することができた。</p>
-------------	--

図書館協議会 委員欄	<p>(評価)</p> <p>・図書館の来館者数は、全国的に減少傾向にあるが、市広報誌やホームページでのPR、公民館事業との連携、テーマ展示等、様々な方法で来館を促進しており、評価できる。</p> <p>・テーマ展示などを通じた資料の再発見を促す取り組みは、派手さはないものの、図書館職員ならではの専門性を体現する地道で重要な活動であり、適切に評価されるべきものと考えられる。また、展示回数は目標を大きく上回っている。啓発活動と結びつけ、社会的テーマを多く取り上げている点も、高く評価できる。</p> <p>(提案・意見)</p> <p>・広報や市ホームページ等で分館で行っている事業等を定期的に紹介することで、公民館に足を運んだことのない市民に対してPRを強化すべきである。</p> <p>・SNSにおいて、興味を引く展示を各館で行っていることは評価するが、SNS掲載までのタイムラグがある。また、学習室等利用状況は別アカウントにするなど、主たる広報を見やすくする工夫が必要である。加えて、ハッシュタグの使い方に工夫の余地がある。</p> <p>・電子媒体へ移行した雑誌の周知と、休刊に伴う雑誌架の空きスペースの活用が課題である。また、新刊を一定期間、館内閲覧できるようにすると集客につながるのではないか。</p> <p>・他施設と併設される分館は、蔵書規模や専門性の集積ではなく、機能が充実している中央図書館との差別化や、地域に根差した「サードプレイス(居場所)」としての機能をより一層強化していくことが求められる。(仮称)子ども・子育て支援複合施設が図書館分館とどう連携していくのか、高洲公民館などの利用実態を踏まえて、計画が検討されることを望みたい。</p>
---------------	---

改善の
方向性

- ・分館で実施している事業等について、引き続き、図書館ホームページやSNSでPRするとともに、必要に応じて『広報うらやす』等でも紹介する。
- ・分館紹介や展示について、SNSへの迅速な掲載を心掛ける。また、ハッシュタグの使い方についても検討していく。
- ・休刊や電子媒体へ移行した雑誌については、一定期間館内で周知を行っている。雑誌架の空きスペースの活用については今後検討していく。
- ・近隣住民にとって利用しやすく居心地の良い分館となるよう検討する。また、引き続き、公民館や児童センターなど同一施設内の他機関との連携を図る。

参考数値	実績:			
			令和5年度	令和6年度
	調査回答	中央図書館	851件	890件
		分館	445件	433件
		合計	1,296件	1,323件
情報発信	図書館ホームページ、SNSでのレファレンス関連広報	19回	26回	
	パスファインダーの作成	29件	30件	

図書館 自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・浦安市立図書館公式Xを活用して、市民に身近に感じられるレファレンス事例を紹介した。 ・庁内各部署に向けて、各課からの調査依頼に回答したレファレンス事例や行政関係雑誌目次集を紹介するなど、様々な方法でレファレンスサービスのPRを行い、行政支援につなげることができた。 ・中央図書館の展示スペースにて、統計書や浦安の自然災害関連書など、レファレンスや地域資料に関する資料を展示することで、レファレンス資料のPRを行うことができた。 ・「うらやす市民大学」及び「創業支援セミナー」の講義テーマに合わせたパスファインダー(調べ方案内)を受講生へ配布し、学習支援の充実を図ることができた。 ・浦安市特有のコレクションである、東京ディズニーランドに関する資料のパスファインダーを新規で作成したほか、『青べか物語』に関するパスファインダーの内容更新などを行い、市民に活用してもらうことができた。
---------------------	---

図書館協議会 委員欄	<p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業支援、市民の生涯学習、浦安市特有のコレクション等についてのパスファインダー作成と掲載情報の更新が評価できる。 ・公民館事業と連携して展示をすることでレファレンス資料を提案できることは、浦安市の図書館分館が公民館内にあるという特徴をうまく活かしており良いと思う。 ・レファレンス事例の蓄積と、パスファインダーのようなセルフレファレンスツールの構築、加えてホームページ等での広報など、レファレンスサービスの活用が市民に着実に浸透してきている点が評価できる。 <p>(提案・意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用講座のように、方法を学ぶことは重要である。未所蔵資料やレファレンス事例の探索方法に関する講座、ウェブでの手配申込みについて実施を検討してほしい。 ・レファレンスサービスを「調べもの相談」という言葉で説明している図書館も多い。市民がイメージしやすい表現も検討してはどうか。市民が気軽に利用できるように、聞いていいことを可視化してPRすることが大切。 ・市民が身近に感じられるレファレンス事例を積極的に紹介してほしい。ディズニーランドに関する資料は興味深い。
-----------------------	--

<p>図書館協議会 委員欄</p>	<p>・IT活用を重点課題として明示的に位置づける必要がある。近年、AIなどの情報技術の進展により、個人でも高度な情報収集を行える環境は飛躍的に向上している。その結果、図書館に求められる役割や期待も、情報を選び、深め、信頼性を担保する拠点へと変化していると捉えるべきである。</p> <p>一方で、ネット上の情報は体系性・信頼性・網羅性の面では限界があり、それを補完できるのが図書館であると考え。その限界を補完できるのが図書館であり、図書館だからこそ可能な情報提供の価値を、これまで以上に積極的に打ち出す必要がある。</p> <p>また、ITを活用した情報探索・整理・検証の方法について、市民を支援する役割も重要になっている。図書館がAIやITを賢く使いこなす知の拠点であることを可視化する姿勢も、これからの図書館にとって十分に意義があると考え。</p> <p>・パスファインダーの周知と、さらなる充実を希望する。また、小・中学生の夏休み課題や自由研究、冬休みの俳句作りなど学校の課題に合わせたパスファインダーがあると、子どもが取り組みやすいと思う。</p>
<p>改善の 方向性</p>	<p>・図書館利用講座等を通して、レファレンスサービスやリクエストの申し込み手順等を含めた、案内の充実に努める。</p> <p>・レファレンスサービスのPRについては、身近なレファレンス事例の紹介とともに、市民にわかりやすい表現や説明を行っていきたいと考える。また、紙の資料(図書、事典、辞書類)とデジタル情報(インターネット、有料データベース等)の両方の長所を組み合わせることによって、より深い調査ができるのが図書館の強みであることをアピールしていく。</p> <p>・子ども向けのパスファインダーに関しては、よくある質問に基づいて、子どもが取り組みやすいパスファインダーの作成を検討する。また、大人向けのうらやす市民大学や創業支援セミナー等、各種パスファインダーについては、図書館ホームページで常時閲覧できるよう、利便性の向上に取り組んでいく。</p>

令和7年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	3	子ども読書活動の推進
------	---	------------

重点課題	1 園や学校等他機関との連携 2 子どもの来館利用の促進
------	---------------------------------

具体的な取組内容	<p>(課題1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児への絵本のよみきかせ、図書館の利用体験、児童書の団体貸出等を実施する。 ・小中学校に対しては、学校に出向いてのストーリーテリング、ブックトークのほか、調べ学習の支援、職業体験の受け入れ等を実施する。 <p>(課題2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた集会事業を実施する。また、事業の開催方法を精査し、必要に応じて見直す。 ・読書通帳の効果的な運用により、子どもの読書意欲を向上させる。
----------	---

担当係	児童・地域支援サービス係
-----	--------------

関連予算	図書館サービス事業
------	-----------

量的指標 質的指標	<p>【量的指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園及び学校からの絵本のよみきかせ等の希望に対し、実施の割合を90%以上とする。 ・園児による図書館利用体験の希望に対し、実施の割合を90%以上とする。 ・児童関連の集会事業の参加者数 4,000人 ・児童の読書通帳新規登録件数 900件
--------------	--

令和7年度 結果 (見込み)	【量的指標】			
		4～9月	見込み数	達成率
	よみきかせ等、園や学校への職員の派遣	177回	354回	100%
	利用案内、職業体験等の実施	6回	12回	/
	講師派遣	7回	14回	/
	園児の図書館利用体験等	62回	124回	100%
	児童関連の集会事業の参加者数	1,802人	3,604人	90%
	児童の読書通帳新規登録件数	438件	876件	97%

*児童は未就学児、小学生、中学生の合計

参考数値	令和6年度実績		
	よみきかせ等、園や学校への職員の派遣	507回	11,332人
	利用案内、職業体験等の実施	24回	135人
	講師派遣	16回	231人
	園児の図書館利用体験等	187回	2,554人
	児童関連の集会事業	611回	4,038人
	児童の読書通帳新規登録件数	861件	

図書館 自己評価	<p>・園児への絵本のよみきかせは、希望のあった園に対し実施することができた。そのほか、園児の図書館利用体験、団体貸出等を実施した。</p> <p>・小学校に対しても、学校に向いてのストーリーテリング、ブックトークを希望のあった学校に対して実施することができた。そのほか、調べ学習の支援、中学生の職業体験の受け入れ等を実施した。</p> <p>・講師派遣は、公民館主催事業への職員派遣、小学校PTA等を対象とした講座講師として職員を派遣するなど、他機関と連携を図り、子どもの読書活動を推進することができた。</p> <p>・乳幼児から中学生まで、発達段階に応じた様々な集会事業を実施し、図書館への来館を促進した。</p> <p>・「ブックスタート絵本講座」は、乳児のいる保護者が参加しやすいよう、開催時間を午後から午前に見直した。</p> <p>・読書通帳について、「読書通帳 新一年生プレゼント企画」、「読書通帳 冬のシールラリー」を実施し、子どもの読書意欲を向上させるとともに、保護者や子どもの来館利用を促すことができた。</p>
---------------------	---

図書館協議会 委員欄	<p>(評価)</p> <p>・上記の取り組みは、子どもたちの成長に寄与しており、高く評価する。子どもが本と出会うきっかけになり、読書離れへの対策になると考える。園児の来館利用は、地域交流や図書館の利用方法を知る良い試みである。</p> <p>・学校や園への職員派遣は高い水準を維持している。派遣回数にはほぼ飽和状態に達していると思われるので、今後は、内容的な充実がうかがえるような質的な評価を導入することも期待したい。</p> <p>・読書通帳は、読書のきっかけとなるだけでなく、学校で借りた本も印字されるので、子どもの好み分かりやすくなり便利になった。</p> <p>(提案・意見)</p> <p>・(仮称)子ども・子育て支援複合施設の新設について、「浦安モデル」と世間から高く評価されるような施設内容を期待する。</p> <p>・乳児から年齢にあった読書をきめ細かく提案することは大切なことだ。乳幼児への読み聞かせは、想像する力を育てる時間である。読み聞かせに子どもたちを連れてくる保護者にも、それぞれの子ども個性にあった本の提案ができるとうい。</p> <p>・保護者が参加しやすい曜日・時間帯に、読み聞かせの実施と本の選び方を学べるイベントを開催してはどうか。</p>
-----------------------	---

<p>図書館協議会 委員欄</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市が進めている学校図書館のメディアセンター化に応じ、小・中学校への調べ学習の支援や資料・情報の提供等、図書館と学校との連携をさらに深化させる必要がある。 ・小中学生が図書館に興味を持ってもらえるよう、外に魅力的な本を置くなど、絵本だけでなく学齢期の子どもへの対応も検討してほしい。
------------------------------	--

<p>改善の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)子ども・子育て支援複合施設を含めた市全体で、今後も子どもが本に親しみ、自主的な読書活動や交流へとつながる事業を実施し、子どもの読書活動を推進していく。 ・図書館でのよみきかせのほか、本の展示、推薦リスト作成等を行い、保護者と子どもたちに良質な本を紹介していくとともに、問い合わせに対しては個々の好みや要望に応じた本を紹介していく。 ・集会事業について、対象となる子どもや保護者が参加しやすい日時での開催を継続していく。 ・児童・生徒の調べ物の対応や資料提供については、今後も学校図書館と連携をしながら取り組んでいく。また、小中学生への読書推進の取り組みは、継続して実施していく。
---------------------------	---

令和7年度 浦安市立図書館事業評価シート

評価項目	4	ものづくり環境運営事業																						
重点課題	1 ものづくりを体験できる場所として、ファブスペースの利用を促進する。 2 ファブスペースでの市民の個人活動、及び市民同士の交流をサポートする。																							
具体的な取組内容	(課題1) ・デジタルファブリケーション機器の操作体験会を実施し、初心者でも気軽にものづくりが体験できる機会を提供する。 ・ものづくりのアイデアを形にするきっかけとなるよう、設置機器を活用しての具体的な製作例を元にしたイベントを開催する。 ・学校における教育活動と連携し、児童・生徒の利用を促進する。 (課題2) ・利用者相互の情報交換のため、掲示板の運用を開始する。 ・利用者同士が交流を図ることができるイベント等を開催する。																							
担当係	ものづくり環境運営事業担当																							
関連予算	図書館サービス事業																							
量的指標 質的指標	【量的指標】 ・ファブスペース個人利用者数 630人 ・イベント等参加者数 300人 ・ファブスペースの団体利用 3件 【質的指標】 ・利用者交流会の開催																							
令和7年度結果 (見込み)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 15%;">4～9月</th> <th style="width: 15%;">一か月当たり</th> <th style="width: 15%;">年度末見込値</th> <th style="width: 25%;">達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ファブスペース個人利用者数</td> <td>402人</td> <td>67人</td> <td>804人</td> <td>127.6%</td> </tr> <tr> <td>イベント等参加者数</td> <td>153人</td> <td>26人</td> <td>302人</td> <td>100.7%</td> </tr> <tr> <td>ファブスペースの団体利用</td> <td>1件</td> <td>-</td> <td>3件</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>					4～9月	一か月当たり	年度末見込値	達成率	ファブスペース個人利用者数	402人	67人	804人	127.6%	イベント等参加者数	153人	26人	302人	100.7%	ファブスペースの団体利用	1件	-	3件	100.0%
	4～9月	一か月当たり	年度末見込値	達成率																				
ファブスペース個人利用者数	402人	67人	804人	127.6%																				
イベント等参加者数	153人	26人	302人	100.7%																				
ファブスペースの団体利用	1件	-	3件	100.0%																				
参考数値	令和6年度実績 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td style="width: 70%;">ファブスペース利用登録者数</td> <td>460人</td> </tr> <tr> <td>ファブスペース個人利用者数</td> <td>598人</td> </tr> <tr> <td>機器操作体験会・ものづくり体験イベント参加者数</td> <td>630人</td> </tr> </tbody> </table>				ファブスペース利用登録者数	460人	ファブスペース個人利用者数	598人	機器操作体験会・ものづくり体験イベント参加者数	630人														
ファブスペース利用登録者数	460人																							
ファブスペース個人利用者数	598人																							
機器操作体験会・ものづくり体験イベント参加者数	630人																							

<p style="text-align: center;">図書館 自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の多い機器について、機器操作体験会を毎月実施した。また、ものづくり体験イベントについては、4月に浦安市民まつりと連携して実施したほか、毎月様々な機器を活用して開催し、初心者でも気軽にものづくりが体験できる機会を提供することができた。 ・中学校の団体利用があり、利用方法の説明や体験を行った。 ・図書館からの周知事項や、利用者相互の情報交換ができる掲示板をファブスペース内に設置し、運用方法を検討した。 ・利用者同士が交流を図り、ものづくりを通じたコミュニケーションが図れるように、利用者に積極的に声掛けを行った。利用者同士の交流会について、実施方法を検討した。
--	--

<p style="text-align: center;">図書館協議会 委員欄</p>	<p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他に参考とする導入事例が極めて少ない中で、様々な工夫を加えながら市民への広報・周知や利用促進に取り組んでいることを高く評価したい。 ・ファブスペースの個人利用者数、イベント等参加者数とも目標値を達成しており、順調な利用状況がうかがえる。 <p>(提案・意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術や工芸など、手軽に行える場所や機会が身近にあるのは、とても恵まれている。ファブスペースのサービスについて、引き続きの利用促進を期待している。 ・学校との連携も期待している。他の公共施設にはない機材があるので、子どもたちの可能性を広げる体験が検討実施されるとよい。 ・ファブスペースの利用者同士の交流会やグループ作りに期待する。住んでいる街に仲間ができることは、防災など様々な面でプラスになる上、作成スキルの共有により、作品の精度が上がると考えられる。 ・利用者や地域のニーズを踏まえた持続可能な運営計画の検討が望まれる。また、対応できる職員の育成も長期的な課題である。 ・機器の利用枠に空きがなく、すぐに物を作れないことがあり不便を感じることもある。ふらっと立ち寄った人でも作れる環境も検討してほしい。 ・今後建設予定の(仮称)子ども・子育て支援複合施設にもファブスペースが記載されているが、利用が見込めるのか懸念している。 ・認知度が十分とはいえないので、広報やSNSなどで情報発信を強化してほしい。
--	--

<p style="text-align: center;">改善の 方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSや市内他施設での広報を積極的に行うことで、広く市民に周知し、さらに利用を促進する。 ・職員間で設置機器に対する専門的な知識の共有、蓄積を図り、利用者への技術支援を行うことで、登録者の継続的な利用につなげていく。 ・市内中学校、高等学校、大学などへの働きかけを行い連携を図りながら、学級活動等、特別活動での活用をとおして、当該世代の利用を促進する。 ・これまでの実績を考慮しながら、多様なイベントを企画することで、引き続き幅広い世代を対象に、初心者でも気軽にものづくりが体験できる機会を提供する。
---	--